

【山崎名誉主宰の俳句】

黒点

山崎 聰

たましいのごときが飛んで夏の闇
もはや事後となりたる思い天の川
葛切に蜜きのうきよう雨降って
みなおなじかたちで終り盆踊り
雪溪に黒点神々籠りしか
水牛二頭終戦の日の落日
野葡萄のなつかしきいろ曲り角
街道をまっすぐ行けば豊の秋
遠山の素顔を思い暮の秋
朴落葉いるはずのなき彼彼女